

## 〈三郷学の視点⑱〉

### 三郷学の視点

#### 4. つなぐ(生涯学習)

市では、市民のみなさんに三郷の資源(人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化など)を再発見してもらおうと三郷学・歴史講座を開催しています。

私たちの住む三郷で、昔の人々がどのような生活をしていたのでしょうか。戦国時代や江戸時代、そして明治、大正、昭和と農村地域だった三郷もそれぞれの時代の大きな動きに影響を受けたことでしょう。また、水害等の天災に翻弄<sup>ほんろう</sup>されながらも、人々は収穫量を上げようと土地を耕し、季節ごとに五穀豊穡や地域の安寧を願う祭りを行いました。現在、三匹の獅子舞など特徴ある祭りが受け継がれています。

三郷学・歴史講座は、このような三郷の歴史の一端を市内に残る古文書などを使い、古い時代からの三郷を知ることで、昔の三郷に思いを馳せ、私たちの住むまちを身近に感じることを目的に開催しています。

また、行政が用意する講座ばかりでなく、市民が自ら主宰する生涯学習グループによる公開講座にも、学習意欲の高い大勢の市民が参加しています。

市では、こうした講座や活動が市民同士をつなぐ交流の場になることを期待しています。多様な分野で、新たな人のつながりが生まれ、コミュニティの連携が育まれ地域力が向上されます。このような交流の場が、三郷の持つさまざまな資源の力をひきだすきっかけとなることでしょう。

